

学校だより

9月号

一中の桜並木

令和6年9月5日

「教育目標」

考える人 思いやりのある人
助け合う人 成しとげる人



連雀学園三鷹市立第一中学校

校長 宮城 洋之



「選挙」って何だろう？

校長 宮城 洋之

一中の生徒会役員選挙は9月6日。今年は定数を大きく超える12名の立候補者による選挙となりました。選挙というと今年7月に行われた東京都知事選挙は一中生の皆さんにとっても記憶に新しいところでしょう。また、折しも、アメリカの大統領選挙に関連するニュースが毎日のように報じられているところです。

組織や集団のリーダー、代表を決めるときに私たちは選挙という方法を採用しているわけですが、そこにはどんな意味があるのでしょうか。

☆ ☆ ☆

国の在り方を決める「主権」を国民がもっている体制が民主主義です。選挙という仕組みは国民が「投票」によって自らの意思を社会に反映させる手続きであり、民主主義の根幹にかかわる制度と言ってもよいでしょう。

選挙に参加することのできる「選挙権」をもつ人は明治・大正の頃には国民の5%程度に過ぎなかったのが、1945年からは20歳以上のすべての国民へ、そして2016年からは18歳以上に引き下げられました。つまり、ごく一部の国民の意志しか政治に反映されなかった時代から、十代も含めたより若い世代の意思も投票によって表明できる時代に推移してきたわけです。

全生徒が選挙権をもち、自らの代表者を選ぶために行われる生徒会役員選挙も、少し大げさかもしれませんが、こうした社会の仕組みと同じなのです。

☆ ☆ ☆

しかし、選挙を行うだけでは学校や社会を築いていくことはできません。組織・集団をリーダーだけの力で引っ張ることには無理があるのです。

アメリカの大学の研究によると、チームが達成できる成果についてリーダーが関与している割合は1割から2割程度なのに対して、メンバーが及ぼす影響は8割から9割になるそうです。つまり、優秀なリーダーがいたとしてもそれを支えるメンバーの働きがなければ十分な成果は得られません。集団や社会の質を大きく左右するのはメンバーだということです。

こうした、メンバーの働きを「フォロワーシップ」と呼びます。

簡単に言うと「リーダーをフォローする」ということですが、リーダーの指示に従うことだけがフォロワーシップではありません。リーダーに提案したり、自分で考えてチームのためになる行動をしたりするなど、「受け身」ではなく「主体的」なフォローをするのがフォロワーシップなのです。

☆ ☆ ☆

今回の選挙では12名もの皆さんが一中というチームのために立ち上がってくれました。有権者である生徒諸君には一中の未来を考えて一票を投じてほしいと思います。そして、何よりも選挙の結果にみんなで責任をもち、「選挙後」のフォロワーシップを発揮してくれることを期待しています。より良い一中を築くのは皆さん自身なのです。